



春風に誘われて 里山の山開き

長寿山、町内最初の山開き

町内の桜が一斉に咲き出し始めた4月15日、小島の長寿山で町内最初の山開きが開催されました。登山愛好家の方や、地元の老若男女など200名を超える方々が山開きに参加し、登山を楽しみました。参加者は、春の穏やかな風を感じながら山を登り、山頂では町内屈指の展望を楽しんでいました。下山後、地元のみなさんによるお手製豚汁が振る舞われ、身も心も大満足の山開きになったようです。町内の里山には、次第に緑あふれる季節がやってきます。みなさんもぜひ、家族や友だちと近くの里山に足を運んでみてください。

◁誰でも気軽に登れるのが里山の魅力ですね。

▽協定書を手にする北村頭取と佐藤町長



東邦銀行と包括連携協定 ともに目指す、地方創生と復興

町は、3月21日、(株)東邦銀行と包括連携協定を締結しました。協定の主な内容は、雇用の場の創出による町の継続的発展の促進、西部工業団地への企業誘致促進支援、結婚につながる出会い支援や空き家対策などです。その他、子どもたちの陸上教室やサッカー教室の開催も予定しています。今後も、互いに手を取り合いながら、発展的な川俣町の創生を目指していきます。

▽出張所再開にあたり、テープカットが行われました



山木屋再生への第一歩 避難指示解除に伴い山木屋出張所を再開

町は、4月3日に山木屋出張所を再開しました。同出張所は平成23年5月末に閉鎖され、準備宿泊開始後は、住民の相談窓口として、職員が常駐していました。3日からは、所長が常駐し、住民票や印鑑登録、健康保険の申請等の業務を行っています。6月には商業施設「とんやの郷」がオープンします。今後もみんなの心をつなげて、輝く山木屋をつくっていきましょう。

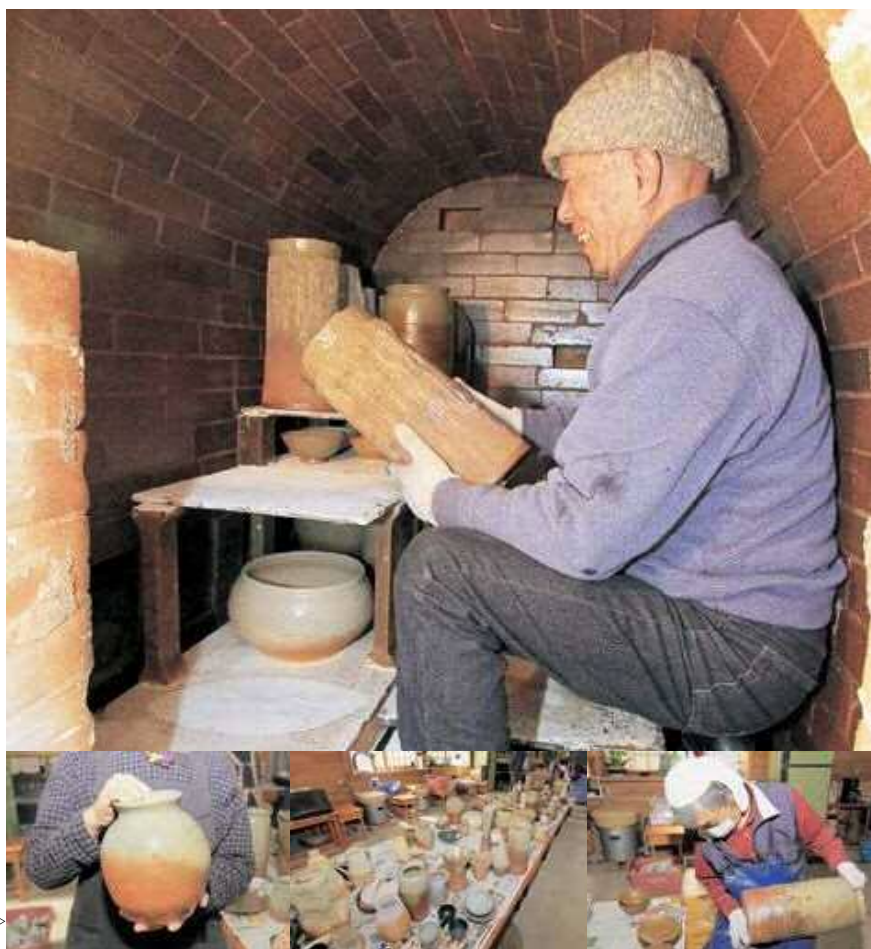
窯から力作続々 仕上がりに歓喜

常泉寺窯で陶芸品の窯出し

4月7日、川俣陶芸会の窯出しが、常泉寺窯で行われました。3月28日に登り窯に入れられた陶芸品は、3月29日から31日まで、1,200℃以上の高温を保った窯の中でゆっくりと焚かれ、その後じっくりと焼き上げられました。みなさん、自分の作品の仕上がりに笑顔を浮かべていました。今回窯出した作品は、6月末から、常泉寺に展示される予定です。



窯から次から次へと見事な作品が出てきました▷



▽今後、ますますのご活躍を期待しています！



妖精の羽・福島県の活力に 齋栄織物「福島県知事賞」を受賞

齋栄織物（鶴沢）が、ふくしま産業賞の最優秀賞「福島県知事賞」を受賞しました。この産業賞は、経済活動を通じ、県内の活力を高め、原発事故からの復興を促進することを目的に平成27年に創設された賞です。齋栄織物が、独自の技術で川俣羽二重を「妖精の羽」へと進化させ、川俣、そして福島の名を世界に発信していることが高い評価を受け今回の受賞に至りました。

▽地域に根差した集会施設が安全に建設されますように…



建設工事の安全を祈る 旧福祉センター跡地に集会施設建設

東日本大震災により大きな被害を受け取り壊された旧福祉センター（大作地内）。現在、その福祉センター跡地に6月末の完成を目指し集会施設を建設中です。3月25日に執り行われた地鎮祭では、多くの地元関係者などが集まり工事の無事を祈りました。今後は地区のみなさんから集会所の名称を募集するなど、地域に根差した集会施設の建設を目指します。